

愛南地区沿岸海難(津波)救助協議会(愛媛県 愛南町)

【活動における課題】

デジタル無線機を用いた海難訓練を実施してきたが、海岸局が標高 100mから平地へ移動したことにより、海岸局と漁船間の通信は愛南町全域とはいなくなった。今後は日頃の漁業においた無線通信ネットワークを、訓練を通して災害時の情報伝達手段へ生かすことにより防災意識へとつなげていきたい。

【活動の目標】

平成 28 年度：油防除における正しい知識の習得
 平成 29 年度：地域住民を巻き込んだ防災訓練の実施
 平成 30 年度：油防除専門家の指導のもと実戦形式でのオイルフェンス展開
 令和元年度：シェイクアウト愛媛への登録と県内一斉防災訓練への参加
 令和 2 年度：船舶火災における消火訓練と初期対応について
 令和 3 年度：過去の西日本災害を知り、常日頃からの備えにより減災へ
 令和 4 年度：危機管理専門官による防災講座

【活動実績等について】

活動項目	内容・方法	実績・成果	課題
平成 28 年度 海難救助、 災害を防ぎ 救援する機能	海難 油防除 訓練 ① 参加者 漁業者 39 名 漁協職員 4 名 無線局職員 4 名 海と渚環境美化・油濁対策 機構 2 名 プログラム (1) 事故発生情報文字データ通信訓練 (2) 海況状況文字データ通信訓練 (3) 油防除講習会	貨物船座礁事故による油流出事故を想定し、三海域同時デジタル無線機による文字情報通信訓練を行った。 油防除専門家を講師に迎え、油防除における基礎知識を水槽実験等により学んだ。	オイルフェンスの展開について、資料をもとに講習を受けたが、専門知識だけでなく実際の海上で経験を積むことも必要だと感じた。
平成 29 年度 海難救助、 災害を防ぎ 救援する機能	海難 防災 訓練 ② 参加者 漁業者 49 名 漁協職員 11 名 漁協女性部 4 名 地域住民他 20 名 使用船舶 13 隻 プログラム (1) 沖出し訓練(漁業者) (2) 避難訓練(地域住民) (3) 曳航訓練(漁業者) (4) 救援物資搬入訓練(漁業者、地域住民) (5) 炊き出し訓練(女性部)	漁業無線は災害時の連絡手段として、重要なツールのひとつとしての機能をはたす事が知られているが、防災訓練で文字情報データ通信を使用することにより、音声での聞き落としを防ぐメリットを再確認することができた。	デジタル無線機の運用に関し海岸局が、標高 100mの山から、海岸端に移動したことにより海岸局と船舶局の間での通信における感度が悪くなった。

<p>平成30年度 海難救助、 災害を防止 救援する機 能</p>	<p>海難油防除訓練 ③、④ 漁業者 95名 漁協職員 14名 油濁対策機構 4名 宇和島海上保安部 3名 使用船舶 2隻 プログラム (1) 文字データ通信訓練 (2) 油防除海上実技訓練 (3) 来賓講評 (4) 海上保安部安全講話</p>	<p>油防除における専門家を講師に招き、オイルフェンスの展開の実技訓練を行った。オイルフェンスを展開するときの注意事項等も指導を受けることができた。</p>	<p>訓練当日は天候に恵まれたため、かえって実際の油流出事故の現場では、想定外のアクシデントも多々あるだろうと感じた。</p>
<p>令和元年度 海難救助、 災害を防止 救援する機 能</p>	<p>海難防災訓練 ⑤、⑥、⑦ 漁業者 61名 漁協職員 5名 漁協女性部 4名 消防署危機管理専門官 2名 地域住民他 28名 使用船舶 14隻 プログラム (1) 沖出し訓練 (2) 避難訓練 (3) 曳航訓練 (4) 救援物資搬入訓練 (5) 炊き出し訓練 (6) 防災出前講座</p>	<p>県民総ぐるみ地震防災訓練、シェイクアウト愛媛へ登録をし防災訓練を行った。消防危機管理専門官を講師に招き、日頃からの備えの必要性について講義を受けた。</p>	<p>地震防災についての講義を受けたが改めてもともと大きな災害の少ない地域という事もあり、災害に対して経験値は少ない。それを補う危機感を養うためには防災講習を定期的に行うことは大切だと感じた。</p>
<p>令和2年度 海難救助、 災害を防止 救援する機 能</p>	<p>海難消火訓練 ⑧、⑨ 漁業者 83名 漁協職員 10名 宇和島海上保安部 3名 使用船舶 4隻 プログラム (1) 文字データ通信訓練 (2) 救出訓練 (3) 消火訓練 (4) 曳航訓練 (5) 安全講話 (6) 海上保安部講評</p>	<p>漁船衝突事故により火災発生を想定した消火訓練を実施した。他の協議会からの情報提供を受け参考にしながら取り組むことができた。</p>	<p>デジタル無線機の不具合により、文字情報通信訓練を行う事ができなかった。日頃からの点検の必要性を感じた。</p>
<p>令和3年度 海難救助、 災害を防止 救援する機 能</p>	<p>海難防災訓練 ⑩、⑪、⑫ 漁業者 71名 漁協職員 15名 漁協女性部 4名 地域住民他 18名 使用船舶 9隻 プログラム (1) 沖出し訓練 (2) 避難訓練 (3) 曳航訓練 (4) 救援物資搬入訓練 (5) 炊き出し訓練</p>	<p>西日本における過去の地震災害の事例や、災害に対する心得について資料配布を行い、参加者一人一人の防災意識を高めることができた。</p>	<p>専門家や講師等、外部組織の方に指導を仰ぎ協力を得る事は、防災に対する知識の習得と意識の向上によりつながると感じた。</p>

【活動状況の写真】

		
<p>説明：①油防除講習会</p>	<p>説明：②沖出し訓練</p>	<p>説明：③オイルフェンス準備</p>
		
<p>説明：④オイルフェンス展開</p>	<p>説明：⑤文字データ通信</p>	<p>説明：⑥救援物資搬入</p>
		
<p>説明：⑦防災出前講座</p>	<p>説明：⑧消火訓練</p>	<p>説明：⑨海上保安部講話</p>
		
<p>説明：⑩シェイクアウト愛媛</p>	<p>説明：⑪避難訓練</p>	<p>説明：⑫炊きだし訓練</p>